

# 国語「テーマを決めて話し合おう」（討論）

中学校・第2学年

## 【本単元の概要】

本単元は、相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に沿って話し合いが効果的に展開できることと話の内容を的確に聞き取り、適切に話す力を育成することをねらいとする。

単元の流れとして、立論のための論理の組み立て方、その論理を支える根拠となる情報の収集や整理、活用を通して、論理的な思考力・判断力・表現力を育てる。その際、自分の論理を固めるための情報交換と自分の考えを述べる場面に協働的な学習を取り入れる。

### 1 単元の目標

- 異なる立場や考えを想定して、自分の立場についての意見を論理的に述べている。
- 異なる立場の意見を正確に聞き取り、自分の意見と比較している。
- 相手の立場や考えを尊重し、話し合いを通して自分の考えを広げている。

### 2 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
・すすんで話し合いに参加し、発言しようとしている。	・相手の反論を予想し、根拠に基づいて意見を述べている。 ・異なる立場の意見を踏まえて、反論している。 ・異なる立場の意見を尊重して聞いている。	・目的や場の状況に応じて適切な言葉を使っている。

### 3 単元の指導計画（全4時間）

時	学習活動（協働的な学習活動）	言語活動のポイント
第1次	第1時 ○学習の目標を知る。 ○意見の述べ方、反論の仕方についてワークシートを用いながら理解する。 ○意見の述べ方、反論の仕方の練習をする。	・聞き手が納得できるように自分の考えを伝えることや、人の意見を自分の意見と比べながら聞くこと、質疑応答することで自分の意見を修正する。
	第2時 ○テーマと自分の立場を確認する。 ○テーマ及び討論する相手と自分の立場を決める。 ○テーマに関して情報収集を行う。	・この学習を通して、伝え合うことの楽しさや多様な考えを知る楽しさに気付かせる。
	第3時 ○自分の意見をワークシートにまとめる。 ○相手の意見の根拠を予想し、質問や反論を準備する。 ○相手の反論を予想し、それに対する答えを準備する。	協働的な学習活動のポイント <b>他者と話し合う必然性のある課題の設定</b> ・討論のテーマは、生徒にとって、身近な話題や体験、経験したことがある話題等から設定し、話しやすい内容にする。そのことで、他者との話し合いが深まり、自分の知識や考え方の幅を広げ、自分の考えを説得力のあるものにすることができる。
	第4時 ○討論を行う。 ○討論の授業を振り返り、感想等をまとめる。 ○自分の討論の論立てや内容を振り返る。 ○討論の学習を振り返り、自己評価し学習感想をまとめる。	<b>互いの考えを知るための工夫</b> ・第2時から第4時における学習活動は「情報収集→整理・分析→まとめ・表現」の活動に応じて新聞やインターネットから情報収集を行うことで、自分の意見の客観性を高めさせる。 <b>自己評価を生かした指導と評価の一体化</b> ・毎時間、自己評価と学習感想の時間を十分に確保する。 ・毎時間の始めに自己評価で書いた内容を紹介し、目的意識をもたせる。



協働的な学習活動

4 本時の学習（第4時）

(1) 特に重点を置いた言語活動のポイント

- ・ 討論とはどのような話し合いであるかを導入時に学習して、意見の述べ方や、聞き方、反論のポイントを示す。
- ・ メモを取りながら相手の意見の根拠（理由）を聞き取らせるようにし、そのメモを基にして、次の討論のための作戦を考えさせる。

(2) 特に重点を置いた協働的な学習活動のポイント

- **コミュニケーションを深めるための個に応じた指導**  
自分の意見の根拠を考える学習、相手の反論を予想し討論に役立てる学習をする際に、同意見の生徒で構成する少人数グループを設定する。

(3) ねらい

異なる立場や考えを想定して、自分の立場の意見を明確に述べるができる。

(4) 本時の展開

学習過程	学習活動	指導のポイント
課題を把握する	1 本時の課題を確認する。	<b>異なる考えを想定して、自分の意見を明確に述べよう</b>
	2 討論の方法や注意点を確認する。	
自分の考えをもつ	《第1時～第3時で実施》 (討論テーマ例) ① 中学生の服装は私服と制服のうちどちらがよいか。 ② 24時間営業店舗はある方がよいか、ない方がよいか。	
	3 討論を行う。 ・ 第一組の討論を行う。(討論6分)(作戦4分) ・ 第二組の討論を行う。 ・ 第三組の討論を行う。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>● 第一組</p> <p>● 第二組</p> <p>● 第三組</p> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> </div> </div>
協働的な学習活動 グループ ↓ 全体		
自分の考えを再構築する	4 自分の討論の論立てや内容を振り返る。	
自己の変容などを振り返る	5 討論の学習を振り返り、自己評価を行い、学習の感想を書く。	

検証の成果と課題

◆ 成果 ◆

- ・ 人との関わり合いがあることで生徒自身の意欲が高まることにつながった。
- ・ 学習を通して互いのよさを知り、互いの考えていることを理解するよい機会になった。
- ・ 振り返りの時間を十分確保することにより、生徒の変容を評価カードで確認することができた。

【一単位時間の生徒の学習感想】

- ・ あまり意見が言えず、相手の意見を素直に受け入れ過ぎた。
- ・ 意見は出し合えた。

【単元を通しての生徒の学習感想】

- ・ ○○さんとペアで話し合い、チームワークよくできた。
- ・ 同じ意見の人や違う意見の人と話ができて、様々な考え方があったことが分かった。

・ 生徒は自己評価を客観的に付けていた。生徒の中で「評価1でも悪いことではない」というつぶやきがあり、自己評価や振り返りは生徒自身意識して学習していた。

生徒の自己評価が段階に応じて上がった・・・81%      教師の評価が上がった・・・74%

教師の評価と生徒の自己評価が一致した・・・52%      教師の評価も生徒の自己評価も上がった・・・67%

◆ 課題 ◆

- ・ 日頃の学習で生徒が話し合う方法を身に付けないと主体的に学習を進めることは難しい。また、話し合いに時間がかかるので指導者側で柔軟に計画を変更する必要がある。